# 年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：2022 年 4 月 11 日
● 事　業　名　：刑務所出所者等就労支援事業の狭間を埋める支援事業
● 資金分配団体　：更生保護法人　日本更生保護協会
● 実 行 団 体　：特定非営利活動法人　愛知県就労支援事業者機構
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☑無

① 実績値

【資金支援】

| アウトプット | 指標 | 目標値 | 達成時期 | 現在の指標の達成状況 | 進捗状況＊ |
|---|---|---|---|---|---|
| 法定期間経過後の刑務所出所者等が就職支援を受ける状態になる。 | ①就職支援を働きかけた人数<br>②就職支援開始人数<br>③支援終了人数 | ①合計 80 人/ 3 年<br>②合計 25 人/同<br>③合計 25 人/同 | 2023 年 1 月 | 2021.4～2022.3 の累計<br>①36 人<br>②6 人<br>③5 人<br>事業開始から累計<br>①55 人②8 人③ 7 人 | 3 |
| 刑務所出所者等及び協力雇用主が就職インターンシップを受ける状態になる。 | ①就職インターンシップ参加の働き掛けを行った刑務所出所者等の人数<br>②就職インターンシップ協力依頼を行った協力雇用主の数 | ①95 人/ 3 年<br>②75 社/同 | 2023 年 1 月 | 2021.4～2022.3 の累計<br>①　40 人<br>②　30 社 | 3 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ③就職インターンシップを受けた刑務所出所者等の人数<br>④就職インターンシップを実施した協力雇用主の数<br>⑤就職インターンシップ実施延件数 | ③54 人/同<br>④45 社/同<br>⑤81 件/同 | | ③　9 人<br>④　9 社<br>⑤　12 件<br>事業開始から累計<br>①65 人②48 社③16 人<br>④15 社⑤26 件 | |
| 地区協力雇用主会が増加する状態になる。 | ①協力雇用主会創設に向けた働き掛けを行った協力雇用主の数<br>②協力雇用主会創設についての同意を得られた保護司会の数<br>③地区協力雇用主会創設に当たっての打合せ会議開催回数（非接触型会合を含む）<br>④地区協力雇用主会と連携して行う研修・座談会・意見交換会等の開催回数<br>⑤助言等（非接触型会合を含む）の支援を受けた協力雇用主数<br>⑥増設された地区協力雇用主会数 | ①115 社/ 3 年<br>②6 地区保護司会/同<br>③30 回/同<br>④30 回/同<br>⑤60 社/同<br>⑥3 地区/同 | 2023 年 1 月 | 2021.4～2022.3 の累計<br>①40 社<br>②0<br>③11 回<br>④16 回<br>⑤45 社<br>⑥0<br>事業開始から累計<br>①71 社②1③20 回<br>④（2021 新設）16 回<br>⑤68 社⑥1 | 3 |
| 建設業以外の協力雇用主が増加する状態になる。 | 建設業以外の協力雇用主を増加するため、<br>①働きかけを行った事業者数 | ①300 社/ 2 年 | 2023 年 1 月 | 2021.4～2022.3 の累計<br>①101 社<br>②2021.4 確認予定 | 3 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ②募集のホームページを閲覧した事業者数<br>③セミナーの案内をした事業者数<br>④セミナーに参加した事業者数 | ②150 社/同<br><br>③200 社/同<br>④100 社/同 | | ③0<br>④0<br>2021 から事業開始のため上記に同じ | |

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

| |
|---|
| 1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み |
| 3.課題がある |
| 2.アウトカムの状況 |
| A：変更項目<br>☐変更なし ☑短期アウトカムの内容 ☐短期アウトカムの表現 ☐短期アウトカムの指標 ☐アウトカムの目標値 |
| 3. 活動に関する報告 |
| （1）国の事業により就職活動支援を行ったが、就職できないまま法定期間が経過して、2021.4 から本事業の支援を開始した。自宅に引きこもりの状態が続く本人に対し、家族も含めた月数回の電話接触による支援を続けた。精神科クリニック受診を勧めて応じるようになり、次第に健康を回復した。2022.2、ようやく就労意欲が出たので、近隣の協力雇用主を調整して同月から就労を開始した。体調は未だ万全でなく、出勤と休暇を繰り返しており、なお暫くの間、見守りを続けている。法定期間を経過して国の支援が途切れた後も、本事業により本人及び家族の孤立を防いだことで、就労して立ち直ろうとし始めたといえる。また、法定期間を経過して一人の市民となった者をエンドレスで支援するという、これまでになかった支援のスタイルを当団体が経験し、当団体の事業が新たなステージに入ったとも考えられる。<br>（2）法定期間を経過した後の職場定着支援を 202 1 年度から愛知県が始めることとなり、当団体がこの事業を受託して、愛知県との連携 |

| |
|---|
| が深まった。保護観察所、保護司組織及び協力雇用主組織とは個別の相談や会議を通じて連携し、本事業の理解が深まった。<br>（３）当団体が支援する中で離職と同時に住居を失った者に対し、本事業を実施する県内の他団体にシェルターの確保を依頼して、当面の住居が確保できた。本事業によって当該団体を知ることができたので、当団体の支援でカバーできない支援も協働によって実現した。 |
| 6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点 |
| ・対面での支援を事業の方法として位置付けていたが、コロナ追加助成を活用しながら、オンラインを使って、更生保護施設在所中の者への支援及び保護観察所との協議・打合せも実施している。<br>・コロナ追加助成を活用して、ホームページを開設し、より多くの協力雇用主等に事業を知ってもらうようにしている。 |

**② 広報に関する報告**

| |
|---|
| 1. シンボルマークの使用状況 |
| ☑自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している<br>☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他<br>→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）： |
| 2. 広報 |
| 1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）<br>当期（2021.4～2022.3）においては、特になし。<br>2.広報制作物等<br>ホームページを開設した。https://www.aichi-syuro.jp<br>3.報告書等<br>2020 年度事業実施結果報告：2021 年 8 月　内閣府 NPO 法人ポータルサイトにおいて公表<br>4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）<br>特になし。 |

**④規程類の整備に関する報告**

| |
|---|
| 1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。 |
| ☐完了　　☑整備中 |
| 2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。 |
| ☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開<br>→「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日： |
| 3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。 |
| ☑はい　　☐いいえ　　（変更なし）<br>→「いいえ」を選択した場合の理由： |

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

| |
|---|
| 1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。 |
| ☑はい　　☐いいえ<br>→「いいえ」を選択した場合の理由： |
| 2.　内部通報制度は整備されていますか。 |
| ☑はい　　☐いいえ<br>→「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☐内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用 |
| 3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。 |
| ☑はい　　☐いいえ<br>→「いいえ」を選択した場合の理由： |
| 4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか |
| ☑はい　　☐いいえ<br>→「いいえ」を選択した場合の理由： |

| 5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。 |
| --- |
| ☑はい　　☐いいえ<br>→「いいえ」を選択した場合の理由： |
| 6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む） |
| ☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない<br>→「実施する予定がない」を選択した場合の理由： |

**添付資料**

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

協力雇用主との意見交換会の様子